



令和6年6月
横浜市立恩田小学校
TEL (961) 7651
FAX (961) 6014



大人が子どもの手本となる社会に

校長 山根 淳一

初夏の候、地域・保護者の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。新年度が始まり、二か月が経過しました。お子様の様子はいかがでしょう。

5月23日、1年生と4年生を対象とした交通安全教室が本校の校庭で開催されました。1年生は道の歩き方、4年生は自転車の乗り方について学びました。青葉警察署、青葉交通安全協会、同母の会、青葉区役所、そして多くの保護者ボランティアの方々のご指導と見守りのもと、充実した交通安全教室となりました。私は1年生の子どもたちには、「今日学んだことを、今日の下校の時からしっかりと活かしてほしい。」ということ、そして4年生には「自転車に乗っていて事故に巻き込まれることもあれば、事故を引き起こすこともある。被害者になるだけでなく、加害者になることもあるということ」を常に心に留めて自転車には乗ってほしい。」ということをお話しました。

先日新聞に、5、6月は一年の中でも小学生以下の交通事故による死亡・重傷事故が最も多いという記事が載っていました。「警察庁によると、2023年までの5年間に発生した交通事故で、死亡したり重傷を負ったりした小学生以下の子どもは計4430人で、月別では6月が最多の440人、5月の420人が2番目に多く、また時間帯で見ると、午後3時～5時台が最も多く、小学生の下校時刻と重なる」とのことです。

授業が終わり、開放的な気持ちになる下校時こそ、車には十分に気を付け、さらに歩道いっぱい広がったり、大きな声を出したりして、人に迷惑をかけることのないよう、ご家庭でも子どもたちに伝えていただけますよう、お願いいたします。

本校には子どもたちが安全に登下校できるようにいつも見守ってくださっているスクールキーパーの方々がいっぱいいます。また青パトで見回りをしてくださる方もいっぱいいます。保護者の皆さまも、黄緑色のジャンパーを羽織ったスクールキーパーの方々や青パトを見かけられました折には、ぜひお声かけいただけますよう、お願いいたします。



先日バス停でバスを待っていると、目の前を片手でスマートフォンを操作しながら自転車に乗る大人を見かけました。子どもには決して見せられない姿だと感じました。まずは私たち大人自身が子どもたちの手本となるよう、しっかり心がけるべきと改めて思いました。